

2025 年 5 月 22 日

各 位

株式会社福井銀行

環境省「第 6 回 脱炭素先行地域」への池田町との共同提案および選定について

株式会社福井銀行（頭取 長谷川 英一）は、環境省が実施する「第 6 回 脱炭素先行地域」に池田町と共同提案を行い、「脱炭素先行地域」へ選定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

池田町は「先進的で充実する小数社会の構築」をテーマに「選ばれるまちづくり」に取り組んでおります。脱炭素地域づくりは、その一環として提案したものであり、この取組みが「地域づくり経済」として地域振興に貢献する事業となるよう、共同提案者として伴走支援してまいります。

記

1. 提案概要

（1）事業名

脱炭素化困難な豪雪地帯における県と町の連携による地域脱炭素実現
～町が取組み、県が支えて、民とともに、県内、北陸、全国に展開する
ノウハウ波及型の脱炭素プロジェクト～

（2）共同提案者

福井県、株式会社福井銀行、株式会社まちUPいけだ、北陸電力株式会社、株式会社アドバンテック、株式会社森とみずのちから、公益社団法人雪センター、福井工業大学、長岡技術科学大学、一般財団法人池田町農業公社、千葉大学環境健康フィールド科学センター、一般財団法人いけだ農村観光公社、一般社団法人ふくい健康省エネ住宅推進協議会、池田町建築組合、越前福井森林組合、株式会社ソマノベース

（3）提案の概要

①目標

- ・ 地域振興公社「まち UP いけだ」がエネルギー事業を実施するため、子会社として「まち UP エナジー」を新たに設立し、融雪機能付き太陽光発電（約 1,200kW）の PPA 事業を一般住宅向けに展開
- ・ 遊休農地に垂直型太陽光発電設備（約 900kW）を導入し、地域特産品（そば・よもぎ等）を生産
- ・ 町と「まち UP いけだ」が主体となって SPC を設立し、豊富な水資源を生かした小水力発電設備（約 450kW）を導入
- ・ 「まち UP エナジー」が太陽光発電設備導入の有無等を踏まえた再エネメニューを組成し町内へ電力を供給
- ・ 県は町への人的支援を行い町の取組みを共同で推進するとともに、設置補助制度等のハード面の支援も実施

- ・地域金融機関（福井銀行）はファイナンス面の支援にとどまらず、町への人的支援のほか、空家活用の方策や高齢者世帯向けリースバック的手法等、様々な課題への対応策を検討

②事業のポイント

- ・「融雪型太陽光パネル」の導入等により、家庭・公共施設の屋根に太陽光パネルを整備し、屋根雪下ろしの労苦の解消と、再生可能エネルギーの最大限の導入を図る。



- ・役場第3セクター（まちUP いけだ）の子会社による「まちづくり×地域新電力」を実施し、エネルギーの地産地消と経済循環・雇用創出を図る。
- ・池田町の豊かな森林資源を目指す「木望の森 100 年プロジェクト」と一体となって、「池田町役場庁舎」の地域産木材利用（構造材について、地域で吸収したCO₂を地域に固定する大径木 100%利用）、及び地域林業の収益性をあげる空調専用のバイオマス熱供給システムを導入する。
- ・美しい農業景観を守りながら、エネルギーの自給に向けて、垂直式ソーラーパネルなどを効果的に活用して、農業生産・商品開発の向上も実現する（特産品開発）。

（４）事業実施期間 令和 7 年度～令和 12 年度

2. これまでの経過 令和 4 年 4 月 ゼロカーボンシティ宣言
令和 5 年 2 月 脱炭素ビジョン策定

3. 福井銀行の役割 脱炭素化支援を通じて、地域課題解決による地方創生を実現するとともに、本取組で得られた知見・ノウハウを生かしながら、ファイナンス面での具体的な支援策の検討と、ファイナンス面にとどまらない池田町への支援等を行ってまいります。

また、池田町への支援スキームをまとめ、福井県とも連携しながら県内外へ取組みの横展開を目指します。

以 上